

問い合わせ先
第四管区海上保安本部海洋情報部
監理課長 杉山 栄彦
電話 052(661)1611 内線 2510

平成23年8月17日

第140回水路記念日に伴う「パネル展示」開催

～ 伊能大図彩色図と現・旧海図の比較などをパネル展示します ～

9月12日は、我が国が初めて近代的な海図作成のための海洋調査業務を開始したことを記念して設けられた水路記念日です。
今年で140回目を迎えるにあたり、海図等をより理解していただくためにパネル展示を行います。

明治4年9月12日、我が国の海図作成機関として「兵部省海軍部水路局」が誕生し、現在では海上保安庁海洋情報部として海図作成に加え、海洋調査や海洋情報提供の業務を行っています。

今年は「兵部省海軍部水路局」創立140周年にあたることから、第四管区管内における、伊能大図彩色図（複製）、明治・大正期などの旧版海図、現在の海図などのパネル展示を行い、多くの方に海図や海洋情報業務などに対する理解を深めていただきたいと思っています。

日時・会場などは、下記のとおり。

記

- 開催日時： 平成23年8月19日（金）13時から8月31日（水）15時まで
(開催期間中：平日 0930～1700、土日 0930～1900)
- 開催場所： 名古屋港ポートビル1階フロア（名古屋市港区港町1番9号）
(地下鉄名港線「名古屋港」駅下車、3番出口より徒歩5分)
- 主な展示パネル： ①「伊能大図彩色図」（国土地理院所有のものを複製）
②旧版海図、現在の海図
③東日本大震災における障害物調査など海洋情報部業務紹介
- その他： 入場無料、申込み不要

伊能大図彩色図(複製)と現・旧海図比較

第140回水路記念日の記念行事～パネル展示～

平成23年8月19日(金)13時～31日(水)15時

(開催期間中:平日0930～1700、土日0930～1900まで)

展示場所

名古屋港ポートビル1Fロビー



伊能大図彩色図とは…

焼失により復元不可能と思われていたが、「大図」の内、207枚が2001年
米国ワシントンにある議会図書館で発見され、近年
海上保安庁海洋情報部で4面の複写図が確認されました。
このうち山景、海面などに色彩のないもの175枚について伊能忠敬の7代目子孫で洋画家でもある伊能洋(いのうひろし)氏監修により若手日本画家の手彩色により
復元されました。

伊能図(いのうず)とは…

江戸時代後期、伊能忠敬(いのうただたか)により作られた非常に精巧な日本総図であり、

「大図(214枚)」「中図(8枚)」「小図(3枚)」とその他の図に分けられます。幕府に献上された正本は明治6年の皇居炎上で、伊能家に保管されていた写しは大正12年の関東大震災により焼失しました。



- ・伊能大図彩色図の展示
(愛知県・三重県沿岸)
- ・現在刊行されている管内の海図
- ・明治期などの管内旧版海図
について展示を行います。

※今回展示されている
伊能大図彩色図は、
国土地理院所有の
ものを「複製」した
ものです。

海洋情報部の業務紹介
東日本大震災における
測量作業の様子なども
展示しております。



名古屋港ポートビル



アクセス
名古屋市営地下鉄
名港線「名古屋港」駅3番
出口より徒歩5分。



主催：第四管区海上保安本部 海洋情報部

問い合わせ：052-661-1611 海洋情報部(監理課)

地図:Googleマップより参照